

JAGDA東北地域大会in秋田

「地域づくりとデザイン・無からの始まり」

地方の時代という言葉が叫ばれて久しく、その響きに古ささえ感じる時代になりつつあります。

しかし、平成の大合併や財源移譲などの政策により

日本全体が現実的な地方の時代へと舵を取りはじめました。

「地方の時代」「地域の時代」が確実にやってくるのです。

そのとき、グラフィックデザインにはなにができるのか？

シミュレーションやRPGではなく、リアルな体験を通して感じ、考える2日間です。

会期／2007年10月20日(土)・21日(日)

会場／秋田県仙北市角館町・秋田内陸縦貫鉄道(角館～阿仁合区間)



SPECIAL GUEST

どんな方々が登場するのか！ビッグサプライズは参加者だけのお楽しみです。

10月20日SAT

12:00～13:00 受け付け(デザイン列車出発時刻／13:25)

13:25～17:00 オープニング

デザイン列車「地域づくりとデザイン・無からの始まり」
平均時速30km/hの列車で地方の縮図を体験しながら、ゆったりとした時間のままに地域づくりを考える。

17:50～19:50 JAGDA東北地域秋田大会「ウェルカムパーティー」

秋田の下真ん中で、東北の新たなデザイン力が覚醒する。

■歓迎アトラクション／安藤兄弟ライブ

20:00～

デザインコミットin角館

あんなこと、こんなこと、熊肉などツツツキながらオール
ナイトでコミットじっくり話してみようじゃありませんか？！

10月21日SUN

8:30～13:20 体験型セミナー

手作り和紙工房で鎌足和紙の世界を体験。

お昼は稲庭うどんの出前販売に舌鼓。

併催展覧会

秋田内陸線車内展

十人十色2007inTOHOKU

展覧会場：秋田内陸線普通列車各車輦内

展示期間：10月15日～11月15日まで

JAGDA秋田地区2007会員作品展

ボトルラベルから見える秋田のデザイン

日本酒4合瓶のラベルを媒体としたデザイン作品展

秋田展

展覧会場：秋田ニューシティ1F秋田晶辰(あきたびいき)内

展示期間：9月16日～10月18日

角館展

展覧会場：角館駅前蔵

展示期間：10月20日～月21日

協賛
秋田内陸縦貫鉄道株式会社、角館プラザホテル、角館西宮家、角館しちべえ、
稲庭うどん文、森川酒造店

後援
秋田県、仙北市、北秋田市、秋田県教育委員会、仙北市教育委員会、
北秋田市教育委員会、社団法人秋田県芸術文化協会、財団法人秋田学術振興財団、
秋田魁新報社、北鹿新聞社、河北新報社、ABS秋田放送、AKT秋田テレビ、
AAB秋田朝日放送、NHK秋田放送局、エフエム秋田、秋田公立美術工芸短期大学、
仙北市商工会、秋田内陸線再生支援協議会、角館町観光協会、
社団法人田沢湖観光協会、西木観光協会、NPOきたたら、NPO立町商店会
(順不同)マーク・ロコタイプ(敬称略)

主催
社団法人日本グラフィックデザイナー協会 東北地域
社団法人日本グラフィックデザイナー協会 秋田地区



JAGDA東北地域秋田大会

「地域づくりとデザイン・無からの始まり」

参加申込要項

大会参加費／5,000円

■デザイン列車参加料 ■ウェルカムパーティー参加料

デザインコミット参加費／4,000円

10月21日セミナー参加費／1,500円

※昼食代および会場までの交通費(秋田内陸線乗車賃)は各自ご用意ください。

参加申込み方法

添付の申込書に必要事項をご記入の上FAXして頂くか指定アドレス宛にメールで
9月1日までに申し込みください。

参加費用のお支払いについて

事業の円滑な運営のため参加料は振込による前払いとさせていただきます。
また、振込手数料は別途ご負担くださいますようお願いいたします。

10月5日までに下記講座にお振込ください。

■振込銀行／みずほ銀行 外苑前支店 ■講座番号／普通口座 1159925
■口座名義／社団法人 日本グラフィックデザイナー協会

交通のご案内

東京から／秋田新幹線こまち・角館駅下車
仙台から／秋田新幹線こまち・角館駅下車／東北自動車道盛岡IC～国道46号(約50分)
盛岡から／秋田新幹線こまち・角館駅下車／国道46号(約50分)
青森から／秋田新幹線こまち・角館駅下車／東北自動車道盛岡IC～国道46号(約50分)
山形から／秋田新幹線こまち・角館駅下車
／山形自動車道・村田JCT～東北自動車道・盛岡IC～国道46号(約50分)
福島から／秋田新幹線こまち・角館駅下車／東北自動車道盛岡IC～国道46号(約50分)

宿泊のご案内

主催する秋田地区では、事前に相当数の部屋を仮予約しております。
宿泊代は各自負担となりますが、予約手配は秋田地区が行いますので、各地区代表幹事の皆様にはお手数をおかけしますが、地区の宿泊予約を取りまとめ、**最終確認のための宿泊予約者名簿を9月2日までに秋田地区代表幹事宛**お知らせくださいますようお願いいたします。
※7月20日現在の参加予定者の仮予約で角館プラザホテルは満室となっておりますので、新規申込の方は他のホテル、旅館をご利用頂くこととなります。

宿泊仮押さえ済みホテル

角館プラザホテル 〒014-0323 秋田県仙北市角館町横町46
TEL 0187-54-2727 FAX 0187-54-2732

事前に仮予約を申込まれている方はホテルに直接ご確認をお願いいたします。
キャンセルされる場合もホテルへ直接ご連絡ください。
料金は素泊まり6,000円前後～6,500円位で直接お支払いください。
朝食は別途です。

参加と宿泊に関するお問合せ

秋田地区代表幹事 三浦 陽一
〒014-1114 秋田県仙北市田沢湖神代字生田中村253
TEL 0187-44-3363 FAX 0187-44-3620
mail : mkिताura@hana.or.jp



takanosu

JAGDA東北地域秋田大会
「地域づくりとデザイン・無からの始まり」

参加申込書

参加申込み方法

以下の申込書に必要事項をご記入の上FAXして頂くか
指定アドレス宛にメールで

9月1日までにお申し込みください。

参加費用のお支払いについて

事業の円滑な運営のため参加料は振込による前払いとさせていただきます。

また、散財をおかけしますが、振込手数料は別途ご負担
くださいますようお願いいたします。

10月5日までに下記講座にお振込ください。

■振込銀行／みずほ銀行 外苑前支店

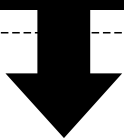
■講座番号／普通口座 1159925

■口座名義／社団法人 日本グラフィックデザイナー協会

FAX 0187-44-3620

秋田地区代表幹事 三浦 陽一
〒014-1114 秋田県仙北市田沢湖神代字生田中村253
TEL 0187-44-3363 mail : mkitaura@hana.or.jp

〈キリトリせん〉



年 月 日

参加申込書 JAGDA東北地域大会in秋田
「地域づくりとデザイン・無からの始まり」に参加します。

※参加する項目をチェックしてください。

10/20日:本大会 10/20:デザインコミット 10/21日:セミナー

地区	氏名
住所 〒	
電話番号	FAX番号
メールアドレス	

■秋田展■

■秋田展■
展示会場：秋田ニューシティー1F秋田鼻根(あきたびいざ)内

展示期間：9月16日～10月18日

■角館展■

■角館展■
展示会場：角館駅前蔵(予定)

展示期間：10月20日～21日

JAGDA秋田地区2007会員作品展

"ボトルラベルから見える秋田のデザイン"

日本酒4合瓶のラベルを媒体としたデザイン作品展

12センチ×12センチの小さな世界。

この限られた平面に私たちのデザイナーとしての歴史を投影してみました。

それは、秋田のグラフィックデザインの変遷そのものでもありません。

手に取って、一献傾け「ふるさと秋田」を味わい、感じながらデザインについて語りたい。

酒が醸す語らいと和の空間をデザインする。

そんなコンセプトの展覧会です。

主催：(社)日本グラフィックデザイナー協会秋田地区

協力：森川酒造店

後援：秋田県、仙北市、北秋田市、秋田県教育委員会、仙北市教育委員会、北秋田市教育委員会、
社団法人秋田県芸術文化協会、財団法人秋田学術振興財団、秋田魁新報社、北鹿新聞社、
河北新報社、ABS秋田放送、AKT秋田テレビ、AAB秋田朝日放送、NHK秋田放送
局、エフエム秋田、秋田公立美術工芸短期大学、仙北市商工会、秋田内陸線再生支援協議
会、角館町観光協会、社団法人田沢湖観光協会、西木観光協会、NPOきたうら、NPO
立町商店会(順不同/マーク・ロゴタイプ・敬称略)

JAGDA東北地域大会併催事業

JAGDA

秋田内陸線車内展 十人十色

takanosu

akitanailikusen

東北各地のデザイナーが発信する「いのち」についての、ささやかなメッセージ。心地よい列車に揺られ、時の流れをゆつくりと感じながら、じっくりとご覧頂きたい。ちよつと変わった展覧会です。

kakunodate

i
n
T
O
H
O
K
U



主催：社団法人 日本グラフィックデザイナー協会 秋田地区
協力：秋田内陸縦貫鉄道株式会社

後援：
秋田県、仙北市、北秋田市、秋田県教育委員会、仙北市教育委員会、北秋田市教育委員会、社団法人秋田県芸術文化協会、財団法人秋田学術振興財団、秋田魁新報社、北鹿新聞社、河北新報社、A B S 秋田放送、A K T 秋田テレビ、A A B 秋田朝日放送、NHK 秋田放送局、エフエム秋田、秋田公立美術工芸短期大学、仙北市商工会、秋田内陸線再生支援協議会、角館町観光協会、社団法人田沢湖観光協会、西木観光協会、N P O きたうら、N P O 立町商店会(順不同/マーク・ロゴタイプ・敬称略)

展覧会場：秋田内陸線普通列車各車輻内
展示期間：10月15日(月)～11月15日(木)まで

テーマ「いのち」

展覧会の会場となる秋田内陸縦貫鉄道の列車を、日常の生活を送るための生命線としている地域の人々も多い、いわば暮らすための「いのち」の絆がこの列車といえるでしょう。

また、昨今の秋田県や東北各地でもには「いのち」に関わる事象やニュースが目立つようになってきました。さらに、価値観の多様化で「いのち」あるいは「いのちより大切なもの」という概念も広がってきた感があります。

今回は、時代の流れに押しながされまいと踏ん張りながら暮らしの「いのち」を繋ぎ続ける列車を舞台に、十人十色の捉え方で、広大な価値観をひめたフシギなキーワード「いのち」について考えてみたいと思います。

※実施要項等の内容については9月15日現在において企画進行中ですので開催時に一部変更となる場合もありますのでご了承ください。

every day

inside

くらしと共にそこにある。
そして私たちの中にいつもある。
だから inside

JAGDA

いつもそこにある…くらしを支えるJAGDA会員作品展

JAGDA東北地域秋田大会-協議資料

JAGDA秋田地区からのアピール

■新聞広告やTVCM、様々な食品のパッケージやポスター、書店に並ぶ本の数々、映画や教育番組、コンビニで買う1枚のガムにいたるまで、JAGDA会員の仕事を目にしないことはありません。つまり、日本人ならば「あまねく」JAGDAとかかわりながら生活しているわけですが、巷に溢れるさまざまなものがJAGDA会員の仕事だということは以外と知られていないと思いませんか？

■地方でデザイン業を営む会員にとって、全国的に誰でも知っているヒットデザインやメジャーデザインを手掛けている著名デザイナーと、地元で業務を営むデザイナーがJAGDA会員として同じ立場で日本と地域の経済やくらしを支えているということ、日常に密着した視点から知ってもらうことは、とても大切なことであり、それを肌で知っているクライアントかそうでないかの違いは、仕事の上でも質や効果の違いとなって現われることでしょう。

■そこで、首都圏および大企業をクライアントとする会員に協力を仰ぎ、日常の暮らしと大きく関わっている商品や映像など、特に地方でも必ず目にするのできるJAGDA会員の作品を集めた展覧会を、首都圏主導ではなく地区発案の企画として、地方のための巡回展としての実現の可能性について探ろうとするものです。

■くしくも、本年度の代表幹事会で、会員数増強対策として、さまざまな関連業種を対象とした入会勧誘対象先のリスト集めを実施するという案が提案されたとの事ですが、私どもの団体は一定のクオリティ保持を前提とした職能集団でなければならぬと認識しております。ですから、会員の増強もさることながら、地方においてJAGDA会員の地位向上とデザインフィーに対する意識改革に力を注ぎ、これらの地域格差を是正し、大謀網的会員確保で組織を運営するのではなく、会員各自が現在の倍くらいの年会費を投じても支障がないくらいの業務対価が得られるような業務環境づくりの方がはるかに重要と考えます。

■JAGDA秋田地区では、JAGDAの組織として各種の業務委託を受けておりますが、2006年度の商品開発関連業務において、首都圏コンサルタント（JAGDA会員ではありませんが）との協調（競争？）的受託の事業をおこなう機会があり、地方デザイナーに対する偏見と首都圏業者に対する盲目的信頼の中で、地元デザイナーの実力と誠実さ、JAGDA会員のスキルの高さを知っていただく機会を得ました。しかし、このようなチャンスはどこにでも転がっているわけではありませんし、首都圏業者に比べてはるかに大きなコストを無視した労働的投資も必要でした。

こうした地方デザイナーの苦労は、他の地域でも少なくないのでは？と私たちは思ったのです。

もし、クライアントや周囲の人たちが、JAGDAについて肌で感じ、第一線のクリエイターの組織であることを暮らしに密着した部分で知ってもらえれば、地方会員にとってJAGDA会員であることの本当のメリットが享受できると同時に、JAGDA会員としての姿勢や自覚も深まるのではないかと考えました。JAGDA秋田地区はそのための手段を探る試みに、手を貸していただける東北の有志を募ります。

いつもそこにある…くらしを支えるJAGDA会員作品展

every day inside JAGDA

くらしと共にそこにある。
そして私たちの中にいつもある。
だから inside

実現の可能性について考える 企画調査委員会への 参加者を募ります。

東北地域から全国各地域すべてのアピールへ

■この展覧会を通して職能として経済やくらしを支えているデザイナーJAGDA会員の「しごと」を広く知ってもらおうと共に、地域にも大企業を手掛けるクリエイターと志を供給するJAGDA会員が存在することを再認識してもらい、クライアントの意識次第で地方のデザインは、もっと楽しくエキサイティングにくらしや企業を演出できるのだということを知ってもらいたいです。そけが、結果として地方デザイナーの地位向上と、自らの意識向上にもつながると考えます。

■展覧会の企画、調査作業では、全会員を対象に全国アンケートを計画しています。つまり、全会員が様々なグラフィックデザインのジャンルから展覧会に値する作品を選ぶのです。これこそが、日本のメジャー商業デザインの集大成となりうるのではないのでしょうか。そして、それを地域主導で実現することが、活動拠点にとらわれず全会員が全て同じ土俵に立つことになるのだと思います。それを東北発のアピールに、そして東北地域から全国各地域すべてのアピールできればと希望します。

調査事業のプロセス

企画調査委員会の設立



アンケートの集計・分析



初期調査報告を本部へ提出

企画調査委員会

事業規模、事業内容の策定、精査

アンケート内容の決定、集計、分析など

※秋田地区が地区事業申請し本部補助金対象となったため、企画調査委員会は東北地域から有志を募り秋田地区が中心となって実施します。

企画調査委員会の運営

調査委員会の運営は、原則としてメールまたは専用チャットで行うものとします。調査委員には秋田地区が任期中のみ有効の専用メールアドレスを発行し、運営の円滑化に努めます。

アンケートの方法と集計、分析

アンケート内容は企画調査委員会で決定し、秋田地区が地区補助金で用紙を作成し本部の定期郵送物で全国配付してもらいます。

用紙は連番入り無記名方式で、会員1名につき1回のみとなります。アンケート受付はFAXまたは専用サイトにて行います。サイトは秋田地区が地区補助金で開設します。

情報の管理、集計はアンケート用紙に記載の番号でおこない、無記名とするのでプライバシー保護と同時に内容の重複や二重投票を防ぐことができます。FAXとWEBサイトの両方に同じ番号がある場合はFAXを採用とします。

調査報告書の作成

調査報告書の作成についてはPDFデータを基本として、ネット上で編集を行います。本調査委員会の目的のひとつにネットを活用し移動の負担を極限まで少なくして、ネット上で可能な協調、連携作業についての試行があります。

※秋田地区としては、志を持って参加していただいた方には、それに答えられる知識的報酬が得られる事業となるよう心がけています。